

● 企画者のことば ●

婦人科外来診療は、多岐にわたる症候や疾患を扱うため、最新の医療情報に基づいた up to date な診療を実践することは容易ではありません。産婦人科診療ガイドライン—婦人科外来編は、CQ & Answer 形式で構成され、専門家のコンセンサスに基づいた信頼性の高い指針です。しかし、症候や疾患ごとの記載が少なく、図表も限られているため、診療中に効率的に情報を得るのは容易ではありません。

そこで、本書は産婦人科医師が専門のサブスペシャリティ領域以外の診療を行う際にも直感的に使用できる臨床指針を目指し、各領域のエキスパートの先生方にご執筆いただきました。「症候からの鑑別診断」と「疾患」に分けて構成することで、婦人科外来診療のほぼ全体を網羅しています。その特徴として、診察、検査、治療の流れを可能な限りフローチャート形式で見やすく整理し、視覚的に理解しやすいよう工夫しています。さらに、典型的な症例を想定した治療法や処方例も豊富に掲載し、実践的な内容が充実しています。加えて、患者への具体的な説明方法についても、エキスパートの先生方に実例をお示しいただくことで、多くの診療指針本と差別化される「かゆいところに手が届く」1冊となっています。

また、これから経験を積んでゆく産婦人科専攻医にとっても、この一冊を手元に置くことで安心して外来診療に臨むことができ、臨床研鑽に役立つものと確信します。

本書をご活用いただくことで、日々の診療のさらなる向上に貢献できれば、この上のない幸せです。

2024 年 10 月吉日

日本医科大学産婦人科 桑原慶充
Yoshimitsu Kuwabara